

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

## 記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	25-539
研究の名称	低悪性度膵腫瘍に対する、腹腔鏡下脾臓温存膵体尾部切除術と腹腔鏡下脾合併切除膵体尾部切除の比較検討
総研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 03 月 31 日
試料・情報の利用を開始する予定日	2025 年 12 月 24 日
研究の対象	2016 年 1 月～2025 年 11 月に膵低悪性度膵腫瘍に対して、当院で施行した膵体尾部切除手術を受けられた方。
研究の目的	低悪性度膵腫瘍に対する、膵体尾部腫瘍に対する腹腔鏡下膵体尾部切除 (LDP)、腹腔鏡下脾臓温存膵体尾部切除 (LSPDP) の両術式を比較検討し、短期・中期成績を明らかにする。
研究の方法	LSPDP 群と LDP 群に分けて後方視的に解析する。手術時間、術中出血量など術中因子、術後合併症 (Clavien–Dindo 分類)、膵液瘻 (ISGPS 分類)、脾関連合併症、血液学的指標 (術前、退院時、術後 1 年時点の血小板数) の推移を比較する。
研究に用いる試料・情報の種類	試料：なし 情報：電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、病歴、治療歴、合併症等の発生状況、年齢、性別、体重、身長 等
個人情報の取扱い	患者さんを直接特定できる氏名や住所等の個人情報は、利用する情報から削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

お問い合わせ先	<p>&lt;当院の連絡先&gt;</p> <p>地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター</p> <p>所属：肝胆膵外科</p> <p>研究責任者：富原 英生</p> <p>住所：大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号</p> <p><b>TEL：072-272-1199(代表)</b></p>
---------	---

作成日：西暦 2025 年 11 月 16 日（初版）